



さいじょう 国際交流NEWS



第21号

December 2018

目次

ハロウィンイベント 1

10月イベント報告 2

西条市国際交協会
団体委員の活動報告 3

産業祭 3

DATES WITH
DIANA 4

国際交流INFO 4



さいじょう国際交流NEWS

は年4回西条市国際交流協会事務局によって発行されています。ご質問・ご感想、または掲載してほしい情報がありましたら下記までご連絡ください。

Happy Halloween2018



10/27(土)西条市商店街まちづくり協議会と共催で今年もハロウィンを開催しました。お天気もよく、今年は参加カードを事前販売することで、当日はスムーズにイベントが開始され、多くの方にイベントを楽しんでいただくことができました。参加カードは事前・当日合わせて1,000枚完売し、約2,000人の方が各々の仮装を楽しんでいらっしゃいました。

トリックオアトリートと商店街のお店の方と子供がお菓子を手渡している光景はどこか懐かしく、また国際交流はもちろんのこと市民交流、地域交流、地域活性が一緒になったようなイベントだと感じました。当日は100名以上のボランティアの皆さんが一生懸命手伝ってくださり、素敵なイベントになったことと思います。

毎年楽しみにしていただいているパレードの山車「だし」は「赤の女王」がとてもキュートで商店街を端から端まで子供たちと楽しそうに移動していました。

多くの皆さまの協力のもと、イベントが安全に無事開催できたことを、この場をお借りしまして、皆様にお礼申し上げます。



《オーストリア共和国セーボーデン市クリナー市長》



ハロウィンの仮装大賞表彰式に特別出演していただきました。
Happy Halloween!

イラストに応募していただき、ありがとうございました。最優秀賞は「石原みつき」さん 優秀賞は「わたなべなりはる」「うさみのあ」「はだりょうま」さんが選ばれました。おめでとうございます。



《イベント実施報告》 1杯のコーヒーから考える食のこと日本のこと世界のこと

9/29(土)講師にオフィスナチュレ藤山健氏をお招きし、コーヒーに関すること、食に関すること、カフェと喫茶店の歴史のこと、世界のことを色々教えていただきました。

突然ですが、皆さん、「カフェと喫茶店」の違いをご存知ですか？カフェと喫茶店は似ているようで大きく違います。喫茶店は「TEA HOUSE」といわれ歴史は300年前イギリス・ロンドンが発祥の地であり、「パブ」のような情報共有の場でした。アルコール提供はありません。一方のカフェは1686年フランスのパリが発祥の地であり、「キャバレー」といわれていて、食事をしながらエンターテインメントを鑑賞する情報の共有の場で、今では、「CAFÉやバル」と言われています。アルコールの提供もあります。キャバレーは現在、パリとニューヨークしか残っていません。現在でいうカフェでトークショーやライブをしているのはこのキャバレーの歴史が残っているからなのでしょう。

後半は、3種類の国の豆を試飲しました。豆のひき方、入れ方は同じなのにそれぞれ香り、酸味、風味が違っていました。また正しいコーヒーの淹れ方も学び、受講者たちは「そうなんだ！知らなかった！間違った淹れ方をしていた！」という意見がすごく多かったのがとても印象的でした。

今回の講座では、コーヒーだけでなく、コーヒーから繋がる食文化、地域経済など多様な視点が盛り込まれていてとても楽しくまたいい勉強となりました。



～国際理解講座～あなたもドイツ語話者になってみませんか～西条市からヨーロッパへ～

10/3西条市役所5階大会議室にて国際理解講座を開催し、講師に南萌子さんをお招きし、ドイツ・オーストリア・生活・食費・学校・観光など本当に1時間半の中で多くのことを教えてくれました。

ドイツ語を学ぶメリットってなんだと思いますか。ドイツ語を母国語としている国はドイツ・リヒテンシュタイン・スイス・オーストリアの4か国で、ドイツ語を話せることで同時に4か国において交流を持てます。また、今後イギリスがEU離脱となるとEU圏内でドイツ語話者は最多となり、経済的に安定しているドイツが今まで以上に魅力的な都市となります。また、質のいい教育が受けられます。日本と大きく違うところは、大学の学費が半年ごとに3万円程度で済み、学生にとっては教育を受ける環境はとても良いそうです。ドイツ語は英語と類似しているところもあり英語にも役立ちます。

今回の講座は学生の参加者も多く、講演後、参加者からの質疑応答があり西条市民がとてもドイツ・オーストリア（欧州）について興味があるということがわかりました。



We are the world 交流フェスティバル実行委員会から



西条市国際交流協会では助成金を交付しております。①国際交流活動事業等助成事業②友好都市等市民交流助成事業③海外来訪者受入助成事業があります。今回「We are the world 実行委員会」は①の事業にて国際交流をされたのでご紹介します。

2018年8月19日、ニューヨークからバイオリニスト垂水ユカコさんとその生徒たち、さらにイタリア在住で西条市出身のソプラノ歌手伊藤裕子さんをお招きして、西条市内の小中学校で合唱を学ぶ生徒たちと西条市内のボーイスカウトの子供たちも加わり国際交流コンサートを催しました。

タルミバイオリニストは、ニューヨークを拠点に音楽活動を行っている垂水ユカコ氏が主宰する少年少女によるバイオリン演奏楽団です。音楽という普遍の言語を駆使し、愛と平和のメッセンジャーとして、ローマ法王やスウェーデン国王はじめ世界各国を訪れて、交流コンサートを行っています。メディアでは、「愛と平和の音楽大使」呼ばれて親しまれています。例年、国連総会の始めに国連本部の中庭で「国連平和の鐘式典」があり、ここでも長年演奏を行っています。このような国際的な友好親善活動が評価されて2016年には日本の外務大臣表彰を受賞しました。伊藤裕子さんは、西条市大町生まれ、西条高校出身で東京藝術大学、大学院声楽科を修了後、イタリアに渡りミラノを中心にイタリアオペラのソプラノリストとして活躍されています。今回も夫のピアニスト、アンドレア・スキアーピオさんと共に2014年以来2度目の出演が実現しました。



タルミバイオリニストの垂水ユカコさんと生徒たちは8月16日に来西して、大保木ふれあいの里に4連泊しました。西条市に滞在中も精力的に活動し、老人健康施設等での慰問演奏会も行いました。また、歓迎レセプションはじめ、ふれあいの里での交流会、演奏会後のパーティーで市内の小中学生と英語や身振りを交えて交流しました。生徒たちは、ニューヨークやイタリアの話題に触れて、西条と世界各地の距離がぐっと近くなったようでした。今回のコンサートは、2014年、2016年に引き続き3度目でしたが、回数を重ねるごとに貴重な国際交流の機会となっているようです。今後も、このような国際交流に関わる音楽を通じたコンサートを続けていきたいと思っています。

産業祭 ベトナムワールド

11月10・11日(土・日)に西条農業高校で開催された産業祭に、国際交流協会からベトナムワールドを出展しました。今年のテーマは“ゆったりベトナムな2日間”。ベトナム民族衣装アオザイの展示と試着、ベトナムのコー

ヒーとお茶を飲み、お菓子を食べながら、西条市に住んでいるベトナム人と交流しました。会場で焙煎したベトナムコーヒーに練乳入りが一番人気でした。小さい子どももベトナム語でのあいさつを挑戦しました。今年は西条市に住んでいるベトナム人7名が参加しました。たくさんのお客さんは興味深くベトナムのこと、隣国のタイ、ラオスなどについてたくさん質問しました。JICAの展示コーナーでボランティアの写真パネルが展示され、西条市出身の皆さんが世界中で活躍したことがよく分かりました。



展示ブースメンバー



トゥイさんがベトナムについて紹介しています



アオザイをきている素敵な西条高校生

今年販売したベトナムのデザート「チェ・バ・バ」(ぜんざい)は2日間とも100食が2時間で完売しました！「ゆったり」した空間で楽しい2日になりました。ボランティアで参加して下さった方々に感謝！来年も楽しみに！！

チェ・バ・バ(ベトナムぜんざい)



第3話 「ミルクフルーツ」

ベトナムはフルーツ大国とも呼ばれます！産業祭の「ベトナムワールド」の展示ブースでベトナムフルーツの写真を展示しました。日本では見たことのない果物も沢山あります。その中の一つが「ミルクフルーツ」です。「ベトナム語名はvú sữaで、「Vú＝乳房」「Sữa＝ミルク」という意味です。日本語に直訳すると、「おっぱいフルーツ」になります。名前の由来は、乳白色の果汁と外見からだと言われていますが、実はベトナム人ならだれでも知っている昔話があります。



昔々ある村に母親と息子がいました。母親は父親が亡くなった息子をかわいがって、息子のためにすべてのことをやりました。息子は甘やかされれば甘やかされるほど、いたずらをして、たくさんのトラブルを引き起こしました。息子のいたずらを恐れていた母親は彼を叱りました。すると、息子は怒って家を出てしまいました。母親は悲しくて、息子がいつか家に戻ることを切に願い、毎日家の前で息子を待っていました。息子がどのくらい離れていたのかは、誰も知りませんでした。

息子は遠いところまで行って、人から食べ物をもらったりして、毎日毎日遊んでいました。しかし、日が経つと、母のことが懐かしくなりました。ある日、寒くて、空腹で、知らない子供たちにいじめられたので、家に帰ることにしました。家の風景は変わらないままでしたが、母親の姿は見えませんでした。家の中も、庭の中もいくら探しても、母親がいませんでした。彼は泣き出し始め、「お母さん」と叫んだけれど、何も返事はありませんでした。庭の木を抱きしめて泣き続けました。突然その木が震えていました。あまりにもびびりした彼は見上げると、丸い形の果物が落ちてきました。疲れ切った彼は果物を噛んでみたら、硬かったです。もう一つが落ちてきて、今度は皮を剥いて、食べてみたら、渋かったです。もう一つまた落ちてきて、今度は彼はモミモミ揉んでみたら、白い液体がこぼれました。果肉もみずみずしく、とてもおいしかったです。母からの贈り物のように感じて、彼は号泣しました。そうすると木の枝が伸びて、母親が彼を抱き締めているかのようにになりました。

その後、息子は村の人々から母親の死を聞いて、とても反省しました。庭の木の美味しい実を村の人々に食べてもらいました。人々はお母さんの愛情が込められたこの果物の名前を「Vú Sữa(乳房のミルク)」と呼びました。

★★★★★★★★★★★★★★
★ Dates with Diana ★
★★★★★★★★★★★★★★

ほらがい

法螺貝大会

時折、霧がすっぽりと

石鎚山を包み、神秘的な雰囲気になります。そのなか、石鎚山の上を飛んでいるクジラが泣いているような不思議な音が聞こえます。山腹の何処かで山伏が法螺貝を吹いているのです。

法螺貝の歴史は古く、現在のトランペットとして使われるようになったのは1000年以上も前で、当時は宗教的な行事や軍事のための道具の1つでした。以来脈々と次世代により受け継がれてきました。現在、特別な学校で伝統的な音楽が教えられ、各修験道の学校でも特色ある歌曲が学べます。法螺貝は特に山伏と関連しています。山伏が山奥に入った時に、法螺貝の吹き方によって、他の山伏に居場所や行動等について知らせることもできるからです。

石鎚山は修験道の礼拝所の1つであり、法螺貝の歴史も深いです。現在でもその歴史が味わえます。年中、石鎚山に法螺貝を奉納しに来る修験者が絶えません。そして、毎年11月には石鎚神社成就社で石鎚立螺之会の法螺検定会が行われています。

今年の法螺検定会は11月2日に行われ、その翌日に法螺貝大会もありました。初日、石鎚立螺之会の皆さんが受付してから、神社の中で開講奉告祭が行われます。そして、講習会開講式が始まり、参加者は初回講習者と前

年度段級に振り分けられ、講習を受けます。午前中の講習終了後、第1回認定試験が行われ、午後の講習終了後、第2回認定試験と筆記試験が実施されます。その後、神社本殿で夕拝が行われます。翌日の法螺貝の奉納大会では、先生と受験者が同時に法螺貝を吹き、それは大変印象的でした。

私も石鎚立螺之会の皆さんに歓迎され、その2日間の活動を見学させて頂き、有意義な時間を過ごしました。法螺貝大会に行く前は、年配の男性が法螺貝を吹いている姿しか見たことがなかったので、石鎚神社成就社に到着して、女性も子供も法螺検定を受けに来ていることを知り、また、遠く離れた新潟県、三重県、兵庫県、広島県、福岡県などからも参加者がいて驚きました。そんな中24回も法螺検定会を受験した87歳のお爺さんにも、初めて受験した7歳のお子さんにも会え、年齢を問わず法螺貝が色々な人を楽しませているということが分かりました。それぞれ法螺貝を吹き始めた理由は違いましたが、ほとんどの方が家族の影響を受けたか先輩の伝承を絶やしたくないという理由で法螺貝に興味を持つようになったそうです。

法螺検定会と奉納大会を見に行き、法螺貝の吹き方についてだけではなく、法螺貝を奉納しに石鎚山の前で法螺貝を吹く宗教的な伝統についても大変勉強になりました。法螺貝を吹いている時に神様への尊敬も伝わり、家族への愛情も届けられたと感じました。

【国際交流 INFO】

<ベトナム流生け花講座のご案内>

- ◆日時 12月9日(日) 10:00~12:00
- ◆場所 総合福祉センター ◆参加費 無料
- <第3回国際交流カフェ>
- ◆日時 12月15日(土) 10:00~12:00
- ◆場所 大町公民館
- ◆いずれも参加費 一般300円 協会員200円
3歳以上100円

<国際理解講座のご案内>

- フェアトレードについて学びませんか?
- ◆日時 12月15日(土) 14:00~15:30
 - ◆場所 大町公民館 ◆参加費 無料

<ベトナム人対話講座>

- ◆日時 1月19日(土) 10:00~12:00
- ◆場所 総合福祉センター ◆参加費 無料
- <第4回国際交流カフェ>
- ◆日時 2月13日(水) 18:00~20:00
- ◆場所 SICS
- ◆いずれも参加費 一般300円 協会員200円

【丹原町国際交流協会からのお知らせ】

第19回国際交流スピーチコンテスト◇観覧自由◇

- ◆日時:平成30年12月16日(日)13:00~16:30◆場所:西条市丹原公民館
- ◆内容外国:外国人・小・中・高校生によるスピーチ
- ◆問い合わせ:TEL:090-2781-6502(安藤)

【NPO法人地方再興・個別化医療支援からのお知らせ】

第3回英語スピーチコンテスト◆日時:1月14日(月)13:00~16:30

- ◆場所:西条図書館2階会議室
- ◆内容:前半 2018年に実施した米国シアトル国際研修など
後半:小・中・高校生による英語スピーチ
- ◆交流会:17:00~19:00 産業情報支援センターにて
- ◆お問合せ:TEL:080-6808-5059(石川)

E-mail: toshihisa.ishikawa.r@gmail.com

12月は師走らしく「走って12月が終わる勢いになりそうですね。」2018年も多くのイベントや講座を通じて皆さまと国際交流をできたこと感謝しております。早いですが、皆様よいお年をお迎えください。(石)

国際交流NEWSスタッフ:

編集後記

寺岡祐基(寺) 石村美歩(石) 佐々木絵美(佐)
ダイアナ・マリー・リントン(ダ)
グエン・ブイ・アン・ティー(ア)



フルカラーで読める!